

後更に検討することにする。

6. 名誉会員推薦について

理事長、理事長代理、庶務担当理事（正、副）、各賞推薦担当理事（正）で委員会を構成し、定期的に名誉会員推薦を行い、来年5月の理事会にはかり、総会に提案するようにする。

7. 大会会場で書籍等展示販売申し入れの対応

大会実行委員会の裁量にまかせる。

8. 会員の新規加入の承認について

個人会員平沢尚彦ほか31名の新規加入及び団体会員NHK報道局社会部気象災害班ほか1団体の新規加入が承認された。

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
日本気象学会秋季大会	昭和60年10月29日～31日	日本気象学会	大阪科学技術センター
第11回リモートセンシングシンポジウム	昭和60年10月30日・31日	計測自動制御学会	国立教育会館
極東域モンスーンに関する国際研究集会	昭和60年11月5日～8日	組織委員会・日本気象学会	東京大学海洋研究所
第32回風に関するシンポジウム	昭和61年1月24日	日本気象学会他	気象庁
短期・中期数値予報の国際シンポジウム	昭和61年8月4日～8日	WMO（気象庁）・IUGG	東京、気象庁
第3回アジア流体力学会議	昭和61年9月1日～5日	アジア流体力学会議委員会	日本都市センター

求人・求職コーナー

教員の公募について

この度、当教室（東京都立大学理学部地理学教室 主任教授 貝塚爽平）では下記の要領で専任教員1名を公募いたします。

記

1. 分 野

気候学・気象学またはそれと関連する大気・水・植生を研究対象とする分野

2. 職 名 助教授

3. 職務の内容

当教室の教育（学部（昼間・夜間）および大学院修士・博士課程を含む）・研究に関する仕事の分担
次の学部の講義のいくつかを分担して担当する。

気候学・一般気象学・水文学・植生地理学・地球科学概説・自然地理学（教養）

また、野外調査・観測法も分担して担当する。

その他に大学院の気候学特論・ゼミナールも分担す

る。

（当教室の教育・研究体制についての資料を用意してあります。希望される方は申し出ください。）

4. 採用予定 1986年4月1日

5. 応募書類

イ) 履歴書（写真添付）

所属学会名およびその活動歴を記入のこと
連絡のとりやすい電話番号・住所を明記のこと

ロ) 業績一覧

ハ) 発表論文（未公表の博士論文を含む）の別刷またはコピー

6. 提出期限 1985年10月31日 必着

7. 書類送付先

〒158 東京都世田谷区深沢 2-1-1

東京都立大学理学部地理学教室人事委員会
封筒に「教員応募」と朱書きし、（簡易）書留便でお送り下さい。